

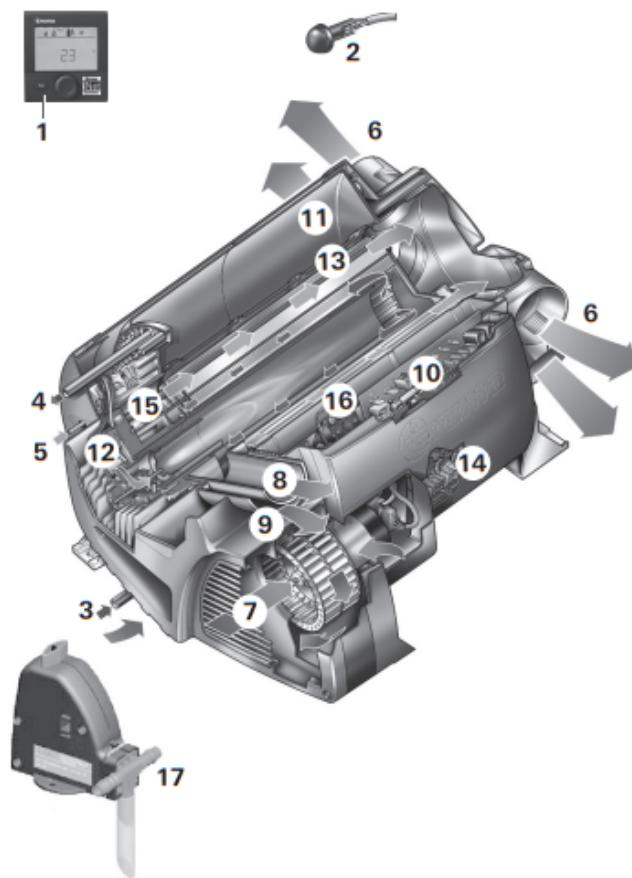


Combi D 6 (E)

 **Operating instructions**

Page 11

To be kept in the vehicle!



- 1:コントロールパネル、デジタルまたはアナログ
- 2:室温センサー
- 3:冷水接続
- 4:温水接続
- 5:燃料ライン接続
- 6:温風出口
- 7:循環空気吸入口
- 8:排気ガス排出口
- 9:燃焼空気吸入口
- 10:電子制御ユニット
- 11:水容器 (10 リットル)
- 12:バーナー
- 13:熱交換器
- 14:パワー エレクトロニクス
- 15:加熱要素 230 V
- 16:過熱スイッチ 230 V
- 17:フロストコントロール (安全/排水弁)

Figure 1

目次

使用される記号	11
使用目的	11
安全に関する注意事項	12
機能の説明 (Combi D 6)	14
機能の説明 (Combi D 6 E)	14
燃料供給	14
燃料の品質	14
低温時の燃料	14
操作手順コントロールパネル	15
室温センサー	15
フロストコントロール	15
安全/排水弁を開く	15
安全/排水弁を閉じる	15
安全/排水弁を自動的に開く	15
ボイラーへの給水	15
ボイラーからの排水	16
初回起動	16
燃料ラインの充填	16
始動	16
電源オフ	16
メンテナンス	16
ヒューズ	16
12 V ヒューズ	16
230 V ヒューズ (Combi D 6 E)	17
230 V 過熱保護 (Combi D 6 E)	17
技術データ	17
故障	18
トラブルシューティングガイド (給水)	18
廃棄	18
付属品	18

目次

 この記号は、起こりうる危険を示します。

 情報とヒントを記載。

使用目的

Combi D 6 (E) ディーゼルヒーターは、温水システム (容量 10 リットル) を内蔵した温風ヒーターです。

このユニットは、キャンピングカーやキャラバンへの取り付け用に設計されています。バスや車両クラス M2 および M3 への取り付けは適正ではありません。

機器を特殊車両や危険物輸送車両に取り付ける場合は、適用される規制に従う必要があります。

 1500 ~ 2750 m の高度でヒーターを長時間作動する場合は、追加の高度キット(部品番号 34610-01)が必要です。

ヒーターまたは排気ダクトに漏れが発生した場合:

- ユニットの電源を切ります。
- 窓とドアを開け換気してください。
- システム全体を購入した店で点検してください。

安全な操作のために

- ユニットは、トルマコントロールパネルとアクセサリを使用してのみ操作します。

- 有毒な排気ガスの危険。

ヒーターの排気ガスは、密閉された空間(ガレージ、作業場など)では有毒になる可能性があります。

車両を密閉されたガレージなどに駐車する場合:

- ヒーターへの燃料供給を遮断します
- タイマースイッチを無効にします
- コントロールパネルでヒーターの電源を切ります。
- 排気カウルが開いている窓の近くまたは真下に設置されている場合は、窓が開いている状態での操作を防止するために、機器に自動シャットオフ装置を装備する必要があります。
- 熱に敏感な物（スプレー缶など）や可燃性物質/液体をヒーターが設置されているスペースに保管しないでください。
- 本体付近では、温度が上昇する可能性があるためです。
- 可燃物を温風吹出口の付近に置かないでください。温風吹出口を絶対に塞がないでください。
- 循環空気取り入れ口、設置コンパートメント、ユニットの周囲のスペースには障害物がないようにして、ユニットが過熱しないようにする必要があります。
- クリーンな燃焼を保証するために、排気カウルと燃焼空気の入口には常に汚れ（泥、氷、葉など）が付着しないようにする必要があります。

 **危険！** 排気口周辺と排気ガスによる危険。排気口の周囲に触れたり、排気口近くに物を近づけたり寄りかけたりしないでください。

– 可燃性の蒸気や粉塵が発生する可能性のある場所、たとえば燃料、石炭、木材、穀物の貯蔵施設の近くなどでユニットを操作しないでください。

– ディーゼル暖房システムは、同等のガス暖房システムよりも常に多くの電力を必要とします。

外部電源なしで使用する場合は、容量の大きなバッテリーや追加バッテリーを追加する必要があります。

オペレーター / 車両所有者の義務

– オペレーターは、ユニットのボイラーに充填する水とその品質に責任を負います。

– 車両所有者は、機器を正しく操作する責任を負います。

– 設置者または車両所有者は、警告情報が記載された付属の黄色のステッカーを、すべてのユーザーがはっきりと見える車両内の場所（ワードローブのドアなど）に貼り付ける必要があります。

– システムは、使用される国のそれぞれの規制に準拠する必要があります。
国の規制と規則に従う必要があります。

– 排気システムは2年を超えない間隔で、資格のある技術者の定期検査を受ける必要があります。

– ヒーターを使用しないとき、凍結の恐れがある場合は必ず水を排出してください。

凍結による故障については、保証に基づく請求はできません

Safe operation

安全な操作

ヒーターの動作中は、燃料タンクの燃料ディスプレイが「低燃料」マーク表示にならないようしてください。

車両の燃料タンクが空になっている場合、燃料除去ダクトの開口部は燃料の表面とほぼ同じ高さになります。この状態では、特に車両の動きのために車両の燃料タンクが傾いている場合、大量の空気が吸い込まれます。

これにより、ヒーターに燃料が不規則に供給されます。

ヒーター・バーナーは、この状態ではきれいな燃焼（完全燃焼）ができず、煙と臭気の発生につながります。

- 車両の内部が十分に換気されていることを確認してください。ユニットが起動すると、ほこりや汚れのために煙や臭いが発生する場合があります。（特に長い間使用していない場合は発生しやすくなります。）
- アプライアンスは、8歳以上の子供、経験と知識を持つ人が使用できます。
- 安全のために：生じるリスクを理解し、子どもたちがアプライアンスで遊ばないようしてください。
- 排気二重ダクト（排気ガスサウンドマフラーと抽出ダクト）は、特に長い旅に続いて、損傷を確認し、接続が健全であることを確認するために、定期的に検査する必要があります。同様にヒーターと排気カウルの取り付けにも当てはまります。運転中の操作 - 燃料補給中、または囲まれた駐車場、ガレージ、またはフェリーでヒーターを使用しないでください。
- 車両を掃除するときなど、家電水が水を噴霧してからの損傷を防ぐために、壁のカウルに直接水を噴霧しないでください。

Troubleshooting

トラブルシューティング

珍しいノイズや匂いに気付いた場合は、Combiをオフにします。

- 火災 / 爆発の危険洪水によって損傷を受けたユニットを使用しようとする場合、または車両が事故に関与している場合。専門家は、ユニットを検査し、水分に損傷した部品を交換する必要があります。損傷したユニットは、必要に応じて新しいユニットに置き換える必要があります。

アプライアンスの修理は、専門家によってのみ実行される場合があります。

- 遅滞なく専門家によって修理された障害があります。
- このマニュアルのトラブルシューティングガイドに解決策が説明されている場合にのみ、自分で修理を実行します。
- **deflagration**（バックファイア）に続いて、アプライアンスと排気管を専門家によってチェックします。

メンテナンス / 修理 / クリーニング

- アプライアンスは、専門家によってのみ修理および清掃される場合があります。

- メンテナンス、修理、清掃は子供が行うべきではありません。

- 保証請求、保証請求、責任の容認は、以下の場合に除外されます。

- アプライアンスの変更（アクセサリーを含む）、
- 排気管とカウルの修正、
- 元のトルーマ部品以外の交換部品とアクセサリー部品の使用、
- インストールおよび操作の指示に従わない。

アプライアンスの運用許可、および一部の国では車両の運用許可も頻繁に行われます。

- 新しいコンビを使用するか、アプライアンスがしばらく使用されていない場合は、使用前に飲料水ですべての温水/冷水ホースを徹底的に洗い流してください

Function description The Combi D 6

Combi D 6ディーゼルヒーターは、統合された温水ボイラー（10リットルのボリューム）を備えた温水エアヒーターです。バーナーはファンアシストであり、移動中であっても、操作が問題がないことを保証します。暖房モードと温水モードでは、ヒーターを使用して部屋を加熱し、同時に給水を加熱できます。お湯のみが必要な場合は、お湯モードを選択します。-温水モードでは、水が最低のバーナー設定で加熱されます。水温に達すると、バーナーがオフになります。-加熱および温水モードでは、ユニットは、コントロールパネルと現在の室温の温度差に応じて、必要な動作レベルを自動的に選択します。ボイラーが満たされている場合、水も自動的に加熱されます。水温は、選択した動作モードとヒーター出力に依存します。自動フロストコントロール安全/排水バルブの約3°Cの温度で、バルブがボイラーを開いて排出します。

drain the boiler.

Function description The Combi D 6E

Combi D 6Eディーゼルヒーターは、統合された温水システム（10リットルのボリューム）を備えた温水ヒーターです。バーナーはファン支援であり、移動中であっても、操作が問題がないことを保証します。暖房モードと温水モードでは、ヒーターを使用して部屋を加熱し、同時に給水を加熱できます。お湯のみが必要な場合は、お湯モードを選択します。

自動フロストコントロール安全/排水バルブの約3°Cの温度で、バルブがボイラーを開いて排出します。ユニットの操作には3つの異なるオプションが利用できます。

- ディーゼルモードのみ 自律的な使用のため
- 電動モードのみ(アップコンバーターが必要) キャンプサイトで100Vを使用
- ディーゼルと電気モード(混合モード) 暖房モードと温水モードでのみ可能です。

暖房および温水モード

暖房および温水モードでは、ユニットは、コントロールパネルと現在の室温の温度差に応じて、必要な動作レベルを自動的に選択します。

ボイラーが満たされている場合、水も自動的に加熱されます。水温は、選択した動作モードとヒーター出力に依存します。

3つのエネルギー選択オプションはすべて、冬の展開に使用できます。

- ディーゼルモードでは、ユニットは必要な動作レベルを自動的に選択します。
- 電気モードでは、900 W (3.9 A) または1800 W (7.8 A) の出力は、キャンプ場でのヒューズプロテクタに従って手動で事前に選択できます。

より多くの出力が必要な場合（たとえば、外部温度の加熱または低い）ディーゼルまたは混合モードを選択して、十分な加熱力が常に利用できるようにする必要があります。

混合モードで、電力要件が低い場合（室温を維持する場合など）、電気モードが選択されます。

ディーゼルバーナーは、電力要件が高くなるまで有効になりません。また、加熱が進行中のときに最初にオフになります。

温水モード（充填ボイラーのみ）

ディーゼルモードまたは230 V電気モードを使用してお湯を沸かします。

水温は40°Cまたは60°Cに設定できます。

ディーゼルモードでは、水が最低のバーナー設定で加熱されます。設定水温に達すると、バーナーがオフになります。

電気モードでは - 900 W (3.9 A) または1800 W (7.8 A) キャンプ場のヒューズ保護に従って手動で選択できます。



混合モードでの使用はできません。

ユニットは自動的に電気モードを選択し
ディーゼルバーナーは有効なりません。

燃料品質

ヒーターには、操作のためにDIN EN 590ディーゼル燃料が必要です。Bio-Diesel (PME、RMEまたはAME) を使用した操作は許可されていません。

燃料供給

低温での燃料製油所と充填ステーションは、通常の冬の気温（冬のディーゼル）に必要な調整を自動的に実行します。

車両がまだ燃料タンクに夏のディーゼルがある場合、0°C未満の温度で困難が発生する可能性があります。低温で使用できる特別なディーゼル燃料がない場合、例えば冬のディーゼル、次に石油またはベンジンは、車両メーカーが与えた指示に従って、燃料と混合する必要があります。

温度 0°Cから-20°C 冬ディーゼル
-20°C～-30°C。極または北極ディーゼル

使用済みオイルは添加物として使用しないでください！

ヒータユニットのすべての燃料ラインに冬のディーゼルまたは燃料補給後の別の許可された混合物で満たされていることを保証するには、ヒーターを少なくとも15分間操作する必要があります。

Operating instructions

本製品の使用を開始する前に、安全指示と操作指示をよくお読みください。

操作手順は、モバイルデバイスとTrumaアプリを使用してオフラインモードで表示できます。
wifi接続がある場合は、操作手順をダウンロードし、モバイルデバイスに保存します。

御使用前に、透明な水で給水タンク・パイプホース内を完全に洗い流してください。
水と接触するデバイスの材料は、飲料水安全です：www.truma.com - メーカーの宣言を参照）。

コントロールパネル

コントロールパネルは、個別の操作命令で説明されています。

室温センサー

室温を測定するために、外部の室温センサー（2）が車両にあります。

センサーの位置は、車両モデルに応じて車両メーカーによって決定されます。より多くの情報は、車両の操作指示に記載されています。

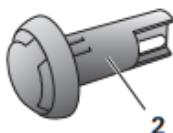


Figure 2

コントロールパネルでお好みの暖房温度を設定してください。

フロストコントロール（安全/排水バルブ）

FrostControlは、現在の安全/排水バルブです。霜の危険がある場合、排水ソケットを通してボイラーの内容物を自動的に排出します。システムに過度の圧力が存在する場合、圧力は自動的に断続的に断続的に均等になります。

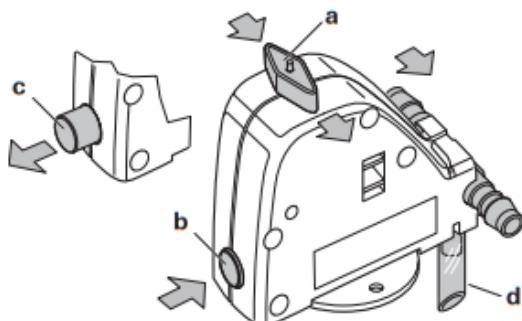


Figure 3

a = ロータリースイッチの位置：オン

b = プッシュボタン 位置：閉じ

c = プッシュボタン 位置：排水

D = 排水ソケット：車両の床から外部に排水

Opening the safety/drain valve

安全/排水バルブを開きます

ロータリースイッチを右回り 90° ずつ回転

プッシュボタンが飛び出します（位置C）。

ボイラーからの水は、排水ソケット（d）を通じて排出します。

フロストコントロールドレンソケット（d）は、水が簡単に排出できるように、汚染（スラッシュ、氷、葉など）詰まりがない状態にしてください。

霜（凍結）での故障は保証の対象外です。

安全/排水バルブを閉じます

回転スイッチが「オン」（位置A）に設定。

プッシュボタンを押して、安全/排水バルブを閉じます。

プッシュボタンは位置：（b）「閉じ」。

安全/排水バルブの温度が約 7°C を超えている場合にのみ。

プッシュボタン（位置b）とボイラーが満たされた状態で手動で閉じます。

Trumaは、加熱要素（部品番号:70070-01）をアクセサリーとして供給します。これは、フロストコントロールに差し込まれ、保持ブレacketで固定されています。

この加熱要素は、combi D6がオンになっているときフロストコントロールを約 10°C に加熱します。

これは、設置場所の温度に関係なく、ボイラーをより早く満たすことができる意味します。

安全/排水バルブの自動開口

安全/排水バルブの温度が約 3°C を下回ると、自動的に開き、プッシュボタンが飛び出します（位置c）。

ボイラーの水を排水ソケット（d）を通じて排出します。

ボイラーに水を充填します

安全/排水バルブが閉じているかどうかを確認します（「安全/排水バルブの閉鎖」を参照）。

フロストコントロールの温度が約 7°C 以下の場合。

最初にヒーターをオンにして、設置場所とフロストコントロールを温めます。

フロストコントロールの温度が 7°C を超える数分後、安全/排水バルブを閉じることができます。

ポンプの電源をオンにします（メインスイッチまたはポンプスイッチ）。

キッチンとバスルームの温水タップを開いて（ミキシングタップまたはシングルレバーフィッティングを「ホット」に設定します）。

ボイラーが内に空気が満たされるまでバルブを開いたままにして、中断することなく水が流します。冷水システムだけがボイラーなしで操作されていても、ボイラーはまだ水で満たされます。

霜（凍結）の損傷を避けるために、たとえ動作していないなくても、ボイラーを安全/排水バルブを介して排出する必要があります。

霜（凍結）が発生した場合、残留水によって充填ができない場合があります。

ボイラーをオンにすることで解凍できます（2分以内）。配管の凍結は、内部を加熱することで解凍できます。ボイラーが中央の給水に接続されている場合、圧力減速機を使用する必要があります。これにより、2.8バーを超える圧力が発生するのを防止します。

Draining the boiler

厳冬時にキャンピングカー/キャラバンを使用していない場合は、ボイラーの水を抜く必要があります。

ポンプアセンブリ (メインスイッチまたはポンプスイッチ) の電源を切ります。

キッチンとバスルームの温水栓を開きます。流れ出る水を確認するには、安全/排水弁の排水ソケット (d) の下に適切な容器 (容量 10 リットル) を置きます。

安全/排水弁を開きます(「安全/排水弁を開く」を参照)。

ボイラーは安全/排水弁を介して直接外部に排水されます。ボイラー内のすべての水(10 リットル)が安全/排水弁を介して容器に排出されているかどうかを確認します。

霜による損傷については、保証に基づく請求はできません。

初回起動(または燃料タンクが空になったとき)燃料ラインの充填自動充填装置を使用していない場合は、通常、ヒーターを数回起動して燃料ラインを充填する必要があります。

カウルが塞がれていないことを確認してください。カバーがある場合は取り外します。

コントロールパネルでユニットの電源を切ります。

ユニットは、電源を入れるたびに自動的に 2 回の始動試行(最初の始動と繰り返し)を行い、それぞれ 2 分間実行します。繰り返し始動後に炎が検出されない場合、ユニットは故障に切り替わり、コントロールパネルで電源をオフにしてから再度オンにする必要があります。炎を形成せずに合計 15 回の始動試行(最初の始動と繰り返し始動)に失敗すると、機器はロックされます。

ロックを解除するには、Truma サービスセンターまたは認定サービスパートナーにお問い合わせください。

燃料ラインに燃料を充填した後、燃料ラインと接続部に漏れがないか確認してください。

Start-up

Combi D 6

設定に応じて、水ありまたは水なしで車内を加熱できます。

Combi D 6 E

設定に応じて、ディーゼル、電気、または混合モードで車内を加熱できます。水ありまたは水なしで車内を加熱できます。

キャンプ場の電源ヒューズ保護が、電源セレクタースイッチを使用して選択された 900 W (3.9 A) または 1800 W (7.8 A) に十分であるかどうかを確認します。

電源ケーブルが過熱するのを防ぐため、ケーブルドラムを完全に巻き戻す必要があります。

– カウルが遮られていなことを確認します。カバーがある場合は取り外します。

– 必要に応じてボイラーに水を入れます

– コントロールパネルでユニットの電源をオンにします。

スイッチを切る

– コントロールパネルでヒーターのスイッチを切ります。

– 内部ヒーターの動作により、スイッチオフ手順が数分遅れる場合があります。

凍結の恐れがある場合は、必ず水分を排出してください。

メンテナンス

メンテナンスおよび修理作業には、Truma 純正部品を使用してください。

– シーズン外でも、ヒーターは月に 1 回、約 10 分間作動させる必要があります。

– 安全/排水バルブ (FrostControl) は、石灰の堆積物を除去し、詰まっていることを確認するために、定期的に(少なくとも年に 2 回) 作動させる必要があります。

ボイラーの洗浄、殺菌、およびメンテナンスには、適切な市販製品の使用をお勧めします。塩素を含む製品は適していません。

機器内の微生物を駆除するための化学薬品の使用効果は、ボイラー内の水を定期的に 70 °C に加熱することで高めることができます。

Combi D 6 E

– ディーゼルモードを選択します。

– 水温を 60 °C に設定します。

– 機器の電源を入れます。

ボイラー内の水が 60 °C に達すると、バーナーの電源がオフになります。機器の電源は少なくとも 30 分間オンのままにし、お湯を抜いてはいけません。熱交換器内の残留熱により、水は 70 °C まで加熱されます。

ヒューズ

ヒューズ 12V ヒューズはコネクタの下の電子機器内にあります。

ヒューズを交換する場合は、必ず同じ種類のものを使用してください。

本体ヒューズ : 10 A – 遅効性 – 5 x 20 mm (T 10 A)

バーナーヒューズ: 20 A – 遅効性 – 6.3 x 32 mm

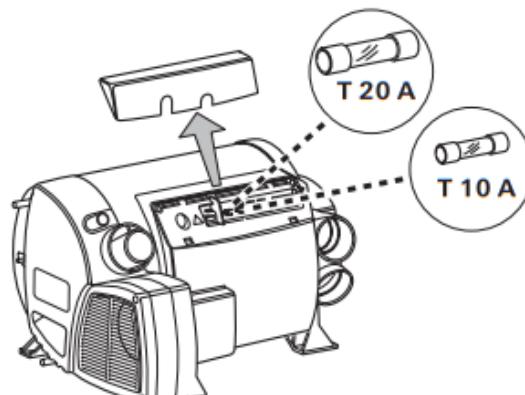


Figure 4

230 V ヒューズ

(Combi D 6 E)

ヒューズと電源ラインの交換は、必ず専門家にお任せください。電子ハウジングの蓋を開ける前に、ユニットを主電源(全極)から外してください。ヒューズは、電子ハウジングの蓋の下のパワーエレクトロニクス(14)にあります。

ヒューズは、同じタイプのヒューズ(10 A、低速動作、遮断容量「H」)と交換してください。

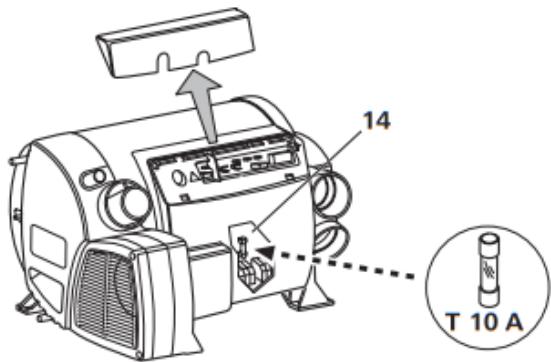


Figure 5

230V過熱保護 (Combi D6E)

230V 加熱設備には機械式過熱スイッチが付いています。たとえば、動作中またはアフターラン期間中に 12V 電源が遮断された場合、ユニット内の温度により過熱保護が作動する可能性があります。

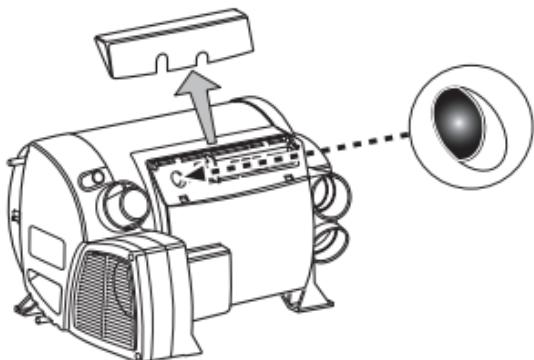


Figure 6

過熱保護をリセットするには、ヒーターが冷めるのを待って、接続カバーを取り外し、赤いリセットボタンを押します。

Technical data

Determined in accordance with Truma test conditions

Fuel

Diesel as per EN 590

Water capacity

10 litres

Heating time from approx. 15 °C to approx. 60 °C

Boiler approx. 20 minutes (measured according to EN 15033)
Heater + boiler approx. 80 min.

Pump pressure

max. 2.8 bar

System pressure

max. 4.5 bar

Rated thermal output (automatic operating level)

Diesel mode

2000 W / 4000 W / 6000 W

Electric mode

900 W / 1800 W

Mixed mode (diesel and electric)

max. 5800 W

Fuel consumption

220 – 630 ml/h (110 ml/h with average heat output of 1000 W)

Air delivery volume (free-blowing without warm air duct)

With 4 warm air outlets max. 287 m³/h

Power consumption at 12 V

Heater + boiler 1.8 – 4 A (in control mode between "Off" and "Lowest operating level" less than 1.8 A)

Heat up boiler without heating operation max. 1.8 A

Stand-by approx. 0.001 A

Heating element – FrostControl (optional): maximum 0.4 A

Power consumption at 230 V

3.9 A (900 W) or 7.8 A (1800 W)

Weight (without water)

Heater: 15.8 kg 16.9 kg (Combi D 6 E)

Heater with peripheral devices: 17.2 kg 18.3 kg (Combi D 6 E)

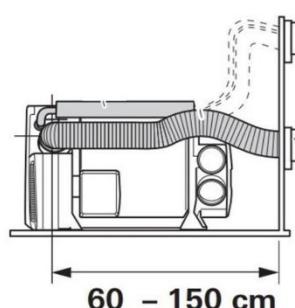
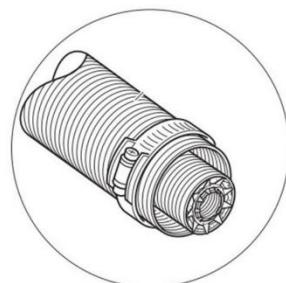
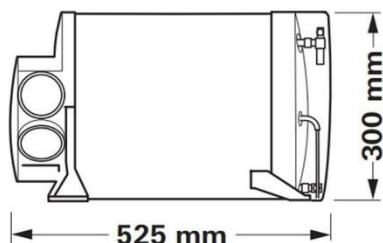
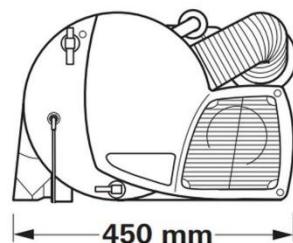


E1 122R-00 0232

E1 10R-04 5277

Subject to technical changes.

Dimensions



故障

故障 - ヒーター

考えられる故障原因の説明とトラブルシューティングガイドは、インストールされているコントロールパネルの操作マニュアルに記載されています。

故障 - 給水

考えられる故障原因とトラブルシューティングガイド - 「トラブルシューティングガイド(給水)」を参照してください。トラブルシューティングガイド(給水)

故障	原因/対策
水が温まるまでに非常に長い時間がかかります。	水容器に毛皮が張られています。/水システムのスケールを除去します(メンテナンスを参照)。
水が流れ出ています。ボイラーに水を入れることができません。	安全/排水弁が開いているにもかかわらず、ボイラーから水を排出できません。
安全/排水弁の排水ソケットから水が滴り落ちています。	安全/排水弁の排水ソケットが詰まっています。/開口部に汚れ(泥水、氷、葉など)がないか確認し、必要に応じて取り除いてください。
ヒーターをオフにすると、FrostControl が開きます。	水圧が高すぎます。 /ポンプの圧力を確認してください(最大 2.8 bar)。ボイラーガ中央に接続されている場合は、2.8 bar を超える圧力が発生しないように減圧装置を使用する必要があります。 温度が約 3°C 未満の場合、FrostControl は自動的に開きます / ヒーターをオンにします / ヒーターを操作しないと、温度が約 7°C に達するまで FrostControl を閉じることはできません / FrostControl には加熱要素を使用します。
FrostControl を閉じることができなくなりました。	フロストコントロールの温度が約 7°C 未満 / ヒーターをオンにします / ヒーターが作動していないと、温度が約 7°C に達するまでフロストコントロールを閉じることはできません。ロータリースイッチが「操作」に設定されていません。/ フロストコントロールのロータリースイッチを「操作」に回し、プッシュボタンがかみ合うまで押します。

If these actions do not remedy the problem, please contact Truma Service.

廃棄

機器は、使用される各国の行政規制に従って廃棄する必要があります。国の規制および法律(ドイツでは、廃車規制など)を遵守する必要があります。その他の国では、関連する規制を遵守する必要があります。

Accessories

トルマCPプラスiNet 対応 Truma ヒーター用自動空調システムを備えたデジタルコントロールパネル Truma CP plus Combi および Truma 空調システム Aventa eco、AventaComfort(シリアル番号 24084022 - 04/2013 以降)、SaphirComfort RC および Saphir Compact(シリアル番号以降) 23091001 - 2012 年 4 月

- オートエアコンシステム機能により、必要な温度になるまでヒーターと空調システムを自動的に制御します。車内が温度に達します。
- Truma iNet ボックスを使用する場合 拡張機能を使用すると、すべての TIN-Buscapable Truma アプライアンスを Truma アプリ経由で制御することもできます。



Figure 8

Truma iNet Box

Truma iNet Box は、アプリを使用してスマートフォンやタブレットコンピューターで Truma アプライアンスを簡単にネットワーク化および制御できるボックスです。



Figure 9

Truma CP E classic / Truma CP classic

アナログコントロールパネル Truma CP E classic(電源セレクタースイッチ - 図 10) および Truma CP classic(コントロールパネル - 図 11)。



Figure 10



Figure 11

FrostControl 用加熱要素 1.5 m コネクタケーブルと保持プラケットを備えた加熱要素。

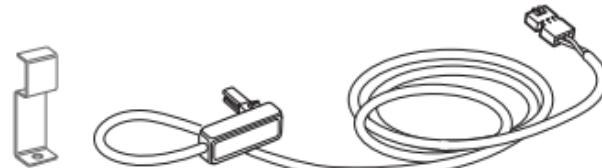


Figure 12

Other accessories (not illustrated) for control panels

- Cable available in different lengths

Manufacturer's Warranty (European Union)

1. Scope of Manufacturer's Warranty

As the Manufacturer of the unit, Truma undertakes a warranty towards the Consumer that covers any material and/or manufacturing defects of the unit.

This Warranty is applicable in EU member states as well as in Iceland, Norway, Switzerland and Turkey. A Consumer is the natural person who was the first one to purchase the unit from the Manufacturer, OEM or dealer and who neither resold the unit in a commercial or self-employed professional capacity nor did he or she install it for a third party in such a capacity.

The Manufacturer's Warranty covers any of the aforementioned defects that occur within 24 months upon concluding the purchase agreement between the seller and the Consumer. The Manufacturer or an authorised service partner undertakes to remedy such defects through subsequent fulfilment, i.e. at its discretion either by repairing or replacing the defective item. Any defective parts shall become the property of the Manufacturer or the authorised service partner. If the unit is no longer manufactured at the time of defect notification and if replacement delivery has been opted for, then the Manufacturer may deliver a similar product.

If the Manufacturer remedies a defect under its warranty commitment, the term of the Warranty shall not recommence anew with regard to the repaired or replaced parts; rather, the original warranty period shall continue to be applicable to the unit. Only the Manufacturer itself and an authorised service partner shall be entitled to conduct a warranty job. Any costs that occur in the event of a warranty claim shall be settled directly between the authorised service partner and the Manufacturer. The Warranty does not cover additional costs arising from complicated removal or installation jobs on the unit (e.g. dismantling of furnishings or parts of the vehicle body), and neither does it cover travel expenses incurred by the authorised service partner or the Manufacturer.

No further-reaching claims shall be permitted, especially damage claims presented by the Consumer or third parties. This provision shall not affect the validity of the German Product Liability Act (Produkthaftungsgesetz).

Neither does the voluntary Manufacturer's Warranty affects the Consumer's legally applicable claims for defects towards the seller in the relevant country of purchase. In individual countries there may be warranties that can be issued by the relevant dealer (official distributor, Truma Partner). In such cases the warranty can be implemented directly through the dealer from whom the Consumer bought the unit. The warranty regulations of the country in which the unit was purchased by the Consumer for the first time shall also be applicable.

2. Warranty exclusions

No warranty claim shall be applicable under the following circumstances:

- Improper use, contrary to the specified use
- Improper installation, assembly or commissioning, contrary to operating or installation instructions
- Improper operation, contrary to operating or installation instructions, particularly maintenance, care and warning notes
- Instances where repairs, installations or any other procedures have been conducted by non-authorised partners
- Consumable materials and parts which are subject to natural wear and tear
- Installation of replacement, supplementary or accessory parts that are not original Manufacturer's parts and which have thus caused a defect
- Damage arising from foreign substances (e.g. oils, plasticisers in the gas), chemical or electrochemical influences in the water, or cases when the unit has come into contact with unsuitable substances (e.g. chemical products, unsuitable cleaning agents)

- Damage caused by abnormal environmental or unsuitable operating conditions
- Damage caused by force majeure or natural disasters or any other influences not within Truma's responsibility
- Damage resulting from improper transport

3. Making a warranty claim

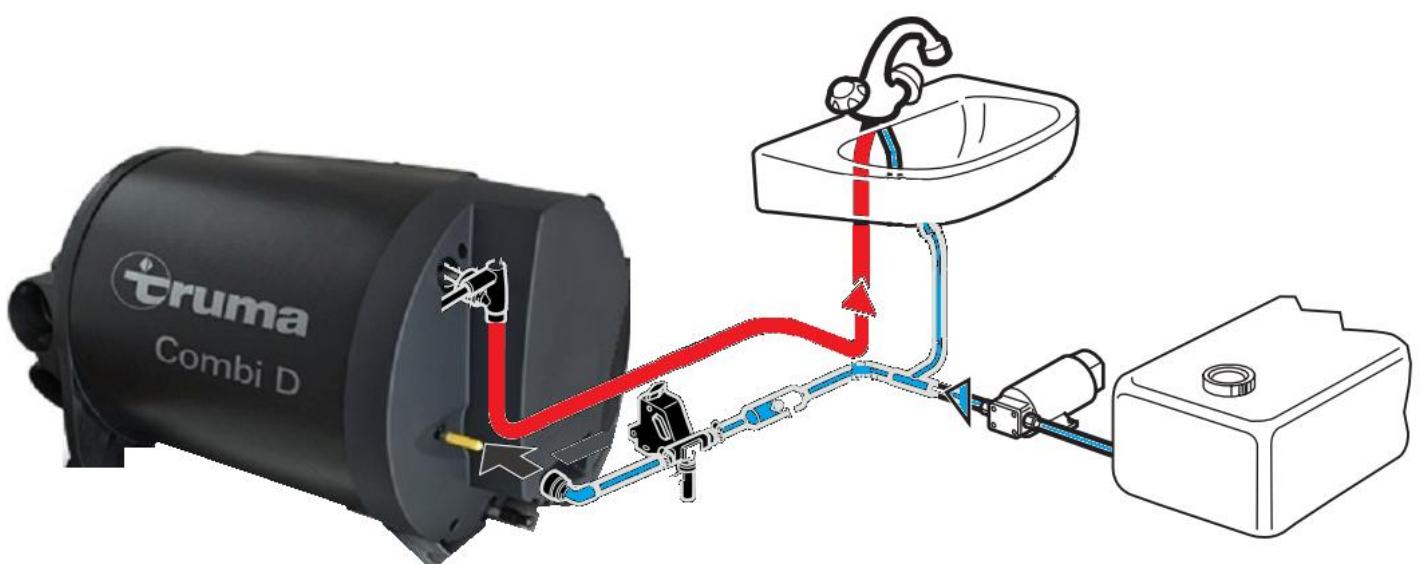
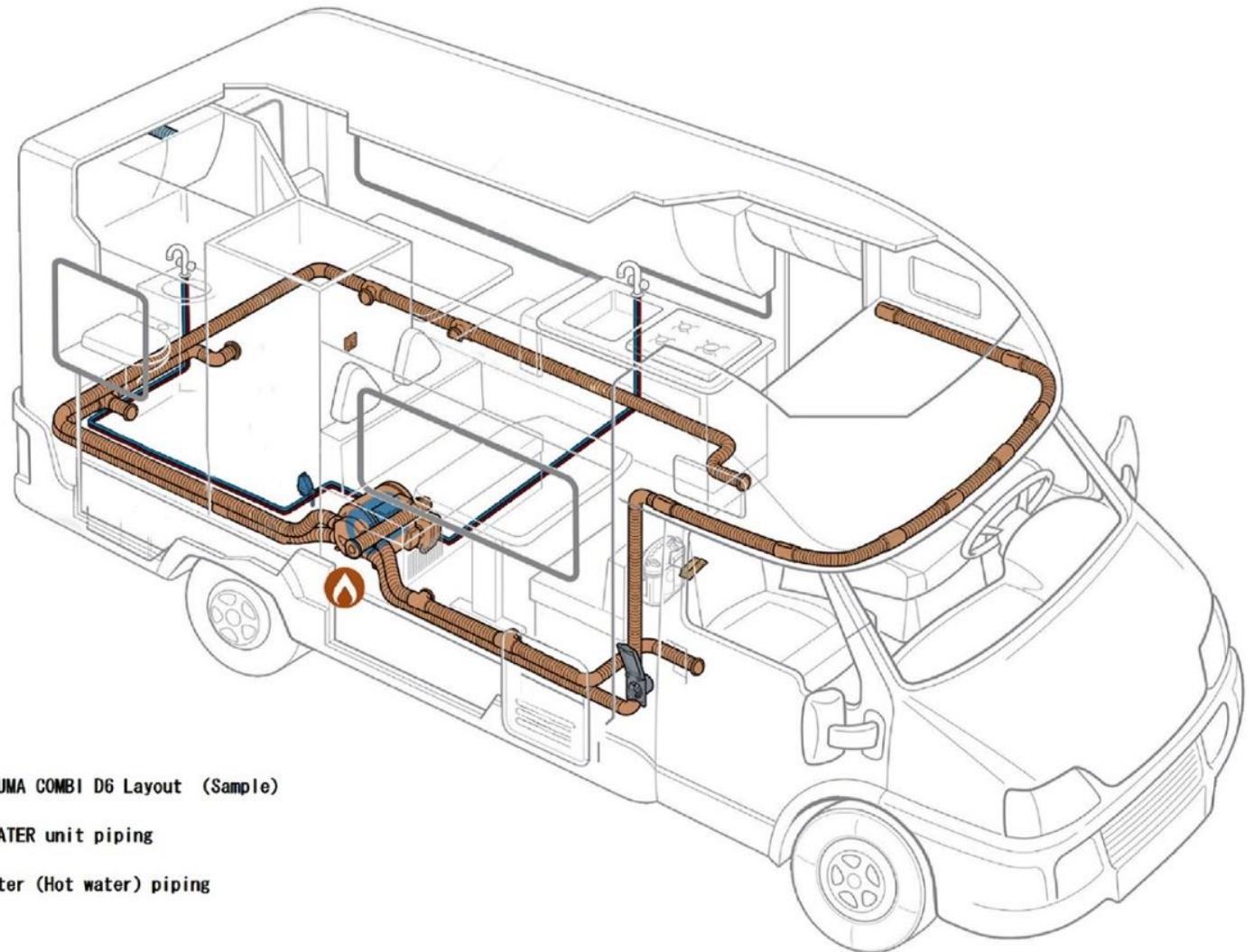
The warranty must be claimed with an authorised service partner or at the Truma Service Centre. All the relevant addresses and phone numbers can be found at www.truma.com, in the "Service" section.

To ensure a smooth procedure, we should be grateful if you could have the following details ready before contacting us:

- Detailed description of the defect
- Serial number of the unit
- Date of purchase

The authorised service partner or the Truma Service Centre will then specify the further procedure. To avoid transport damage, the affected unit must only be shipped upon prior arrangement with the authorised service partner or the Truma Service Centre.

If the warranty claim is recognised by the Manufacturer, then the transport expenses shall be borne by the same. If no warranty claim is applicable, the Consumer will be notified accordingly and any repair and transport expenses shall then be the Consumer's liability. We must ask you not to send in a unit without prior arrangement.





株式会社RV東陽

〒344-0042
埼玉県春日部市増戸862-3

e-mail : rv-toyo@rv-toyo.jp
URL : rv-toyo.jp